

Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

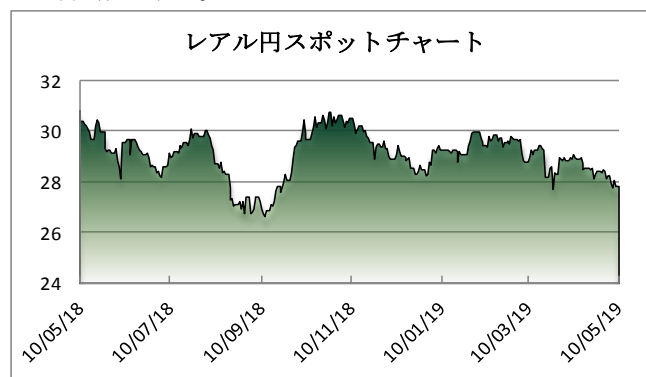
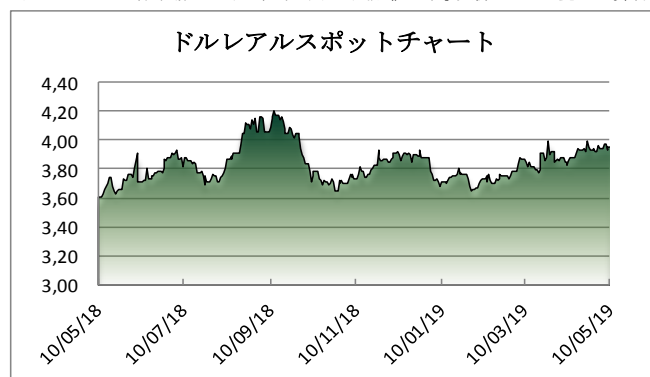
マーケットサマリー

先週末のドルレアルスポット相場は、米中貿易協議の行き詰まりを背景としたリスクオフ要因と、ブラジル国内で進展中の年金改革法案を巡るポジティブな報道が交錯する中、上下に値幅を伴うボラティリティの高い展開となり、一時3.97台前半までレアル安が進行した後、3.93台後半までレアルは急反発。最終的に、3.95台前半で取引を終えている。先週9-10日にワシントンで開催された米中貿易協議であったが、両国の溝は埋まらず、トランプ大統領は通商交渉における自身の主張を引き続き維持する見通しが高まっている。協議以降も同大統領はツイッターへの投稿を継続しており、11日には、「両国の貿易協議を決着させるためには、中国は今、行動することが賢明」、12日には、「米国は我々の望み通りの状況にある」とコメントしている。米当局は本日13日にも、中国からの約3000億ドル相当の輸入品に対する関税計画の詳細を明らかにするとしている一方(クドロー米国家経済会議委員長は、「追加関税が適用されるまで数ヶ月はかかる可能性がある」と発言している)、中国側も追加関税に対する報復措置を検討していると報じられている。事態改善に向けた不確実性が高まる中、6月下旬に予定されている20ヶ国・地域首脳会談(G20、大阪サミット)において、トランプ大統領と習近平国家主席の2者会談が行われる可能性も指摘されている。ブラジル国内で進展中の年金改革法案については、Maia下院議長が週末インタビューに応じ、「政府と議会の関係性は週毎に改善している」と発言。年金法案は6月末にも特別委員会での承認を得て、下院本会議での票決に移行できる見通し、との見解を示している。この他、①農村労働者ための新たな退職規則や福祉援助の項目などで幾つかの修正が予想される、②プランBは存在しない、③本法案だけで全ての問題を解決することは困難、と述べている。

マーケットデータ

Indicator		Unit	5月9日	5月10日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	3,9472	3,9537	0,16%	3,36%	3,6374	4,0158
	対円	JPY	27,81	27,79	-0,07%	-4,25%	30,08	27,53
	対ユーロ	BRL	4,4278	4,4465	0,42%	3,10%	4,1646	4,5069
円	対ドル	JPY	109,74	109,95	0,19%	-0,95%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	123,08	123,52	0,36%	-1,30%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	94.808	94.258	-0,58%	-1,77%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	173,50	173,05	-0,26%	2,39%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,79	8,77	-0,23%	-1,63%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,41	6,40	-0,16%	-1,08%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,53525	2,52788	-0,29%	-2,90%	2,8039	2,5279
CRB Index (国際商品指数)		Index	179,01	178,95	-0,03%	-5,65%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。